

日時：平成20年9月24日(水) 午前11時00分～午前11時25分

場所：公立大学法人熊本県立大学 大会議室

出席：学長 米澤 和彦  
副学長 古賀 実  
事務局長 富永 安昭  
文学部長 三木 悦三  
環境共生学部長 大和田 紘一  
総合管理学部長 松岡 泰  
学術情報メディアセンター長 山田 俊  
文学研究科長 半藤 英明  
委員 石井 博憲  
委員 河原畑 廣  
欠席：委員 坂本 元子

事務局：井上学生サービス担当次長兼教務入試課長、馬場総務課長、稲葉企画調整室長、鉄戸学生支援課長、田中学術情報メディアセンター事務長、枝國地域連携センター事務長、安達入試班長、甲斐主事、上村主幹、田尻参事、林参事

1 開会（進行：稲葉企画調整室長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：米澤学長）

（審議事項）

平成21年度入学者選抜における合格者決定について

・総合管理学部総合管理学科自己推薦型入試

事務局から、資料1-1に基づき、「総合管理学部総合管理学科自己推薦型入試については、募集人員50名に対して230名が志願したため、書類選考を実施し、200名を選考した。9月13日に第1次選考の講義理解力測定に1名の欠席者を除く199名が受験し、111名を合格とした。さらに、9月14日に第2次選考として面接を実施した。9月18日の総合管理学部教授会において、書類選考、講義理解及び面接の合計点で合否判定を行い、合計点の上位53名を合格としたいとの判定結果を得た。」との説明があり、続けて松岡総合管理学部長から、1-2（会議後回収）に基づき、「50名の募集人員に対して230名の志願があったことには満足している。講義理解力測定は、一つのテーマに関して経営、法律、情報の3つの分野から出題するという手法により実施したが、総じて出来がよかった。面接には1名当たり30分の時間をかけた。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

審議後、事務局から、「合格者は、県内生が増加し、県外生が減少した。また、既卒者がなく現役生のみとなり、女性の割合が多かった。」との説明があった。

・大学院環境共生学研究科博士前期課程（秋季募集）

事務局から、資料2-1に基づき、「大学院環境共生学研究科博士前期課程の募集人員は、秋季募集分が20名、春季募集分を若干名としている。総点の概ね6割以上を得点し、3割以下の科目が1科目もないことを合格基準としている。今回の志願者は17名で、9月13日に17名が受験した。9月16日の環境共生学研究科委員会において、合格基準に適合する17名を合格としたいとの判定結果を得た。」との説明があり、続けて有蘭環境共生学研究科長から、資料2-2（会議後回収）に基づき、「一般選抜は15名受験したが、今年度は成績が良好であり、英語、専門科目とも6割以上得点しており、15名を合格としたい。社会人特別選抜は1名が受験し、英語が約6割で面接の結果を含めて6割の得点を充たすので1名を合格としたい。外国人留学生特別選抜は1名が受験し、英語が約6割で面接の結

果を含めて6割の得点を充たすので1名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

審議後、事務局から、「合格者は、合計で17名で昨年度と同数である。一般選抜が増加し、社会人が減少した。県内生が増加し、県外生が減少した。また、男性の割合が多かった。定員は20名だが、春季募集で埋まるものと思う。」との説明があった。

#### 4 閉会